

# 平成27年度・内航タンカー船員実態調査報告書

平成28年3月31日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、及び関係者の理解促進に役立てることを目的に、平成17年に第一回目の調査を開始以後、毎年、10月1日現在における内航タンカーに乗船している船員及び休暇中船員の年齢構成、採用、退職状況等を調査しています。

平成27年度も、運送事業者(オペレーター)を經由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いいたしました。その結果、対象1,066隻の内、771隻からのご報告をいただき、回収率は前年度(70.5%)をやや上回る72.3%となりました。

今年度も回収率を上げるべく、対象事業者に再三提出のお願いをいたしました。例年通り、船型では200G/T未満の小型船、船種では、ガス船以外の特タン船の事業者からの提出割合が低く、全体の回収率を押し下げる結果となりました。しかし、小型船、特タン船の乗組員数が比較的少ない点、他の船型、船種では満遍なく回収されている点を考慮すると、概ね実態が反映される回収率と思われます。

今回の調査から推計される船員総数は、8,680名(前年度9,178名)で前年比約500名減となりました。これは、退職船員の増加、対象隻数の減少(▲27隻)も一因にありますが、全体の予備員率が1.36(前年1.35)と前年並みにもかかわらず、平均乗員数が全体的に減少しており、特に小型船にその傾向が顕著に顕れております。業界全体が船員不足により補充が困難な状況下、安全最小定員ぎりぎりでの運航せざるを得ない船舶の増加は、船員確保や後継者育成の問題もさることながら、安全運航の面からも懸念される問題です。

また、今回の調査による船員の平均年齢は48.0才(前年47.9才)で、ほぼ前年並みとなりました。各社の若年船員等の採用増により、平均年齢が下がることも期待されましたが、25才未満の船員数は663名で全体の10.0%(前年650名、9.3%)と僅かに増加した一方、60歳以上は1,773名で26.6%(前年1,682名、24.0%)と高齢船員の継続雇用の増加から、平均年齢は相殺される結果となりました。

長年にわたり内航タンカーを支えて来た団塊世代の船員は、既に多数退職時期を迎えており、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このため、当委員会といたしましても、各種対策を実行することにより組合員各社の船員問題への対応をサポートしていきたいと思っております。

最後になりますが、当該調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に、改めて厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合  
船員対策委員会  
委員長 内藤 吉起

1. 回答状況

(1)対象隻数 :1,066隻

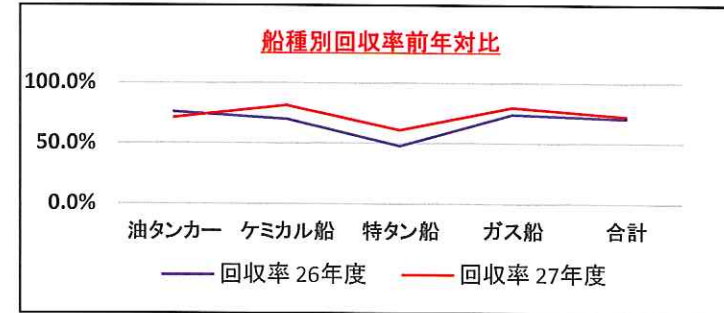
(2)回答隻数(771隻) 回収率:72.3%

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者へ船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率が72.3%の内訳は下段表のとおり。(ガス船以外の特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

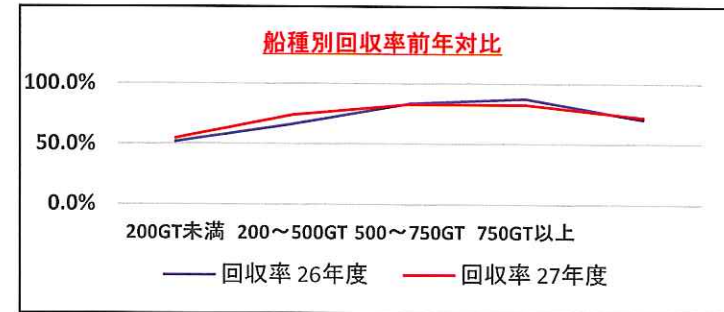
(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
油タンカー	620	610	471	434	76.0%	71.1%
ケミカル船	180	176	126	143	70.0%	81.3%
特タン船	163	157	78	96	47.9%	61.1%
ガス船	130	123	96	98	73.8%	79.7%
合計	1,093	1,066	771	771	70.5%	72.3%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
200GT未満	309	300	160	164	51.8%	54.7%
200～500GT	318	309	211	229	66.4%	74.1%
500～750GT	193	191	161	158	83.4%	82.7%
750GT以上	273	266	239	220	87.5%	82.7%
合計	1,093	1,066	771	771	70.5%	72.3%



(5)回答船員数

( )は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)6,678名(6,999名) ①乗船中の船員数4,927名(5,194名) ②下船中の船員数1,751名(1,805名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

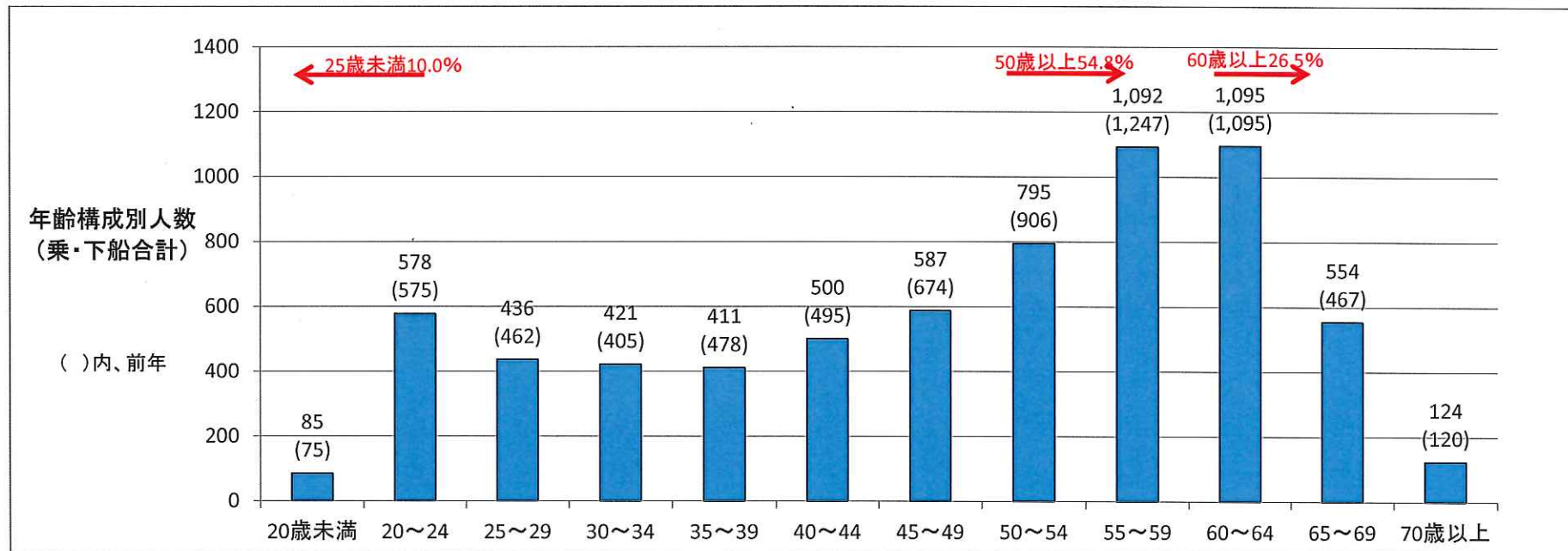
合計(乗船中・下船中)8,680名(9,178名) ①乗船中の船員数6,404名(6,811名) ②下船中の船員数2,276名(2,367名)

※ 前年度より推計船員数が498名少ないのは、減船及び退職者の増加によるものと推計される。

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	計
乗船中	人数	52	413	321	305	310	389	454	587	812	801	403	80	4,927
	年齢計	973	9,102	8,593	9,791	11,518	16,294	21,334	30,576	46,343	49,537	26,753	5,800	236,614
	平均年齢	18.7	22.0	26.8	32.1	37.2	41.9	47.0	52.1	57.1	61.8	66.4	72.5	48.0
	比率	1.1%	8.4%	6.5%	6.2%	6.3%	7.9%	9.2%	11.9%	16.5%	16.3%	8.2%	1.6%	100%
下船中	人数	33	165	115	116	101	111	133	208	280	294	151	44	1,751
	年齢計	618	3,653	3,086	3,704	3,736	4,658	6,257	10,826	15,980	18,181	10,022	3,192	83,913
	平均年齢	18.7	22.1	26.8	31.9	37.0	42.0	47.0	52.0	57.1	61.8	66.4	72.5	47.9
	比率	1.9%	9.4%	6.6%	6.6%	5.8%	6.3%	7.6%	11.9%	16.0%	16.8%	8.6%	2.5%	100%
合計	人数	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
	年齢計	1,591	12,755	11,679	13,495	15,254	20,952	27,591	41,402	62,323	67,718	36,775	8,992	320,527
	平均年齢	18.7	22.1	26.8	32.1	37.1	41.9	47.0	52.1	57.1	61.8	66.4	72.5	48.0
	比率	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100%



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**48.0歳**(前年度47.9歳)でほぼ**前年並み**となった。

② 要因として、**25歳未満**の若年船員は各社の積極的な新卒採用により増加しているが、60歳以上船員も各社の雇用継続による増加から、平均年齢は相殺された。



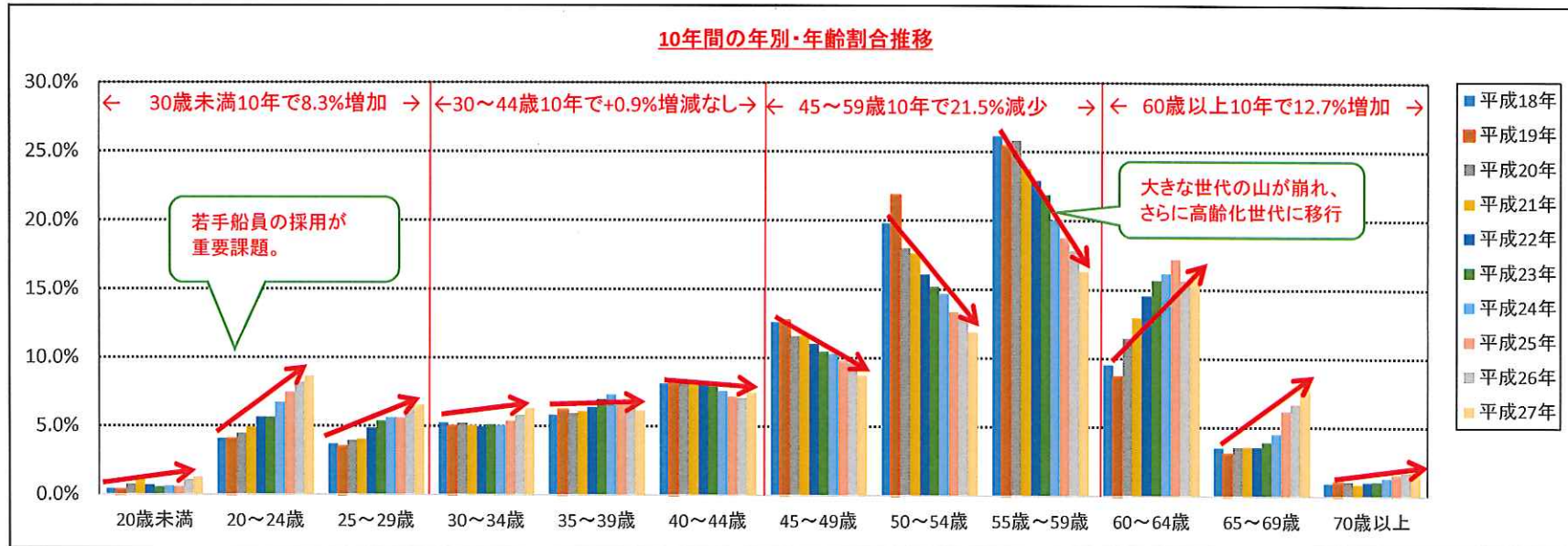
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	報告船員数
平成18年	31	302	273	387	429	599	929	1,461	1,928	704	260	69	7,372
平成19年	22	265	229	327	408	535	838	1,438	1,675	570	203	69	6,579
平成20年	57	345	307	404	461	646	899	1,397	2,004	890	275	81	7,766
平成21年	82	375	308	384	464	624	886	1,342	1,808	987	274	68	7,602
平成22年	48	390	336	344	442	566	762	1,111	1,582	1,005	247	71	6,904
平成23年	38	385	367	349	475	551	715	1,037	1,494	1,070	268	72	6,821
平成24年	42	453	379	342	493	512	696	992	1,354	1,092	306	89	6,750
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
合計	434	3,585	3,033	3,298	4,103	5,003	7,050	10,569	14,338	8,555	2,710	744	63,422

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
平成18年	0.4%	4.1%	3.7%	5.2%	5.8%	8.1%	12.6%	19.8%	26.2%	9.5%	3.5%	0.9%	100.0%
平成19年	0.3%	4.0%	3.5%	5.0%	6.2%	8.1%	12.7%	21.9%	25.5%	8.7%	3.1%	1.0%	100.0%
平成20年	0.7%	4.4%	4.0%	5.2%	5.9%	8.3%	11.6%	18.0%	25.8%	11.5%	3.5%	1.0%	100.0%
平成21年	1.1%	4.9%	4.1%	5.1%	6.1%	8.2%	11.7%	17.7%	23.8%	13.0%	3.6%	0.9%	100.0%
平成22年	0.7%	5.6%	4.9%	5.0%	6.4%	8.2%	11.0%	16.1%	22.9%	14.6%	3.6%	1.0%	100.0%
平成23年	0.6%	5.6%	5.4%	5.1%	7.0%	8.1%	10.5%	15.2%	21.9%	15.7%	3.9%	1.1%	100.0%
平成24年	0.6%	6.7%	5.6%	5.1%	7.3%	7.6%	10.3%	14.7%	20.1%	16.2%	4.5%	1.3%	100.0%
平成25年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成26年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	6.7%	1.7%	100.0%
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%



4. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,027	57,036	55.5
一航士	923	44,631	48.4
次席一航士	188	8,945	47.6
二航士	687	31,834	46.3
三航士	210	7,154	34.1
<b>小計</b>	<b>3,035</b>	<b>149,600</b>	<b>49.3</b>
甲板長	252	13,752	54.6
甲板手	481	18,988	39.5
甲板員	425	15,095	35.5
見習い	14	343	24.5
<b>小計</b>	<b>1,172</b>	<b>48,178</b>	<b>41.1</b>
司厨員	370	19,539	52.8
機関長	971	53,986	55.6
一機士	648	32,072	49.5
次席一機士	52	2,396	46.1
二機士	206	7,336	35.6
三機士	18	497	27.6
<b>小計</b>	<b>1,895</b>	<b>96,287</b>	<b>50.8</b>
操機長	35	1,633	46.7
操機手	36	952	26.4
機関員	125	4,054	32.4
見習い	10	284	28.4
<b>小計</b>	<b>206</b>	<b>6,923</b>	<b>33.6</b>
<b>合計</b>	<b>6,678</b>	<b>320,527</b>	<b>48.0</b>

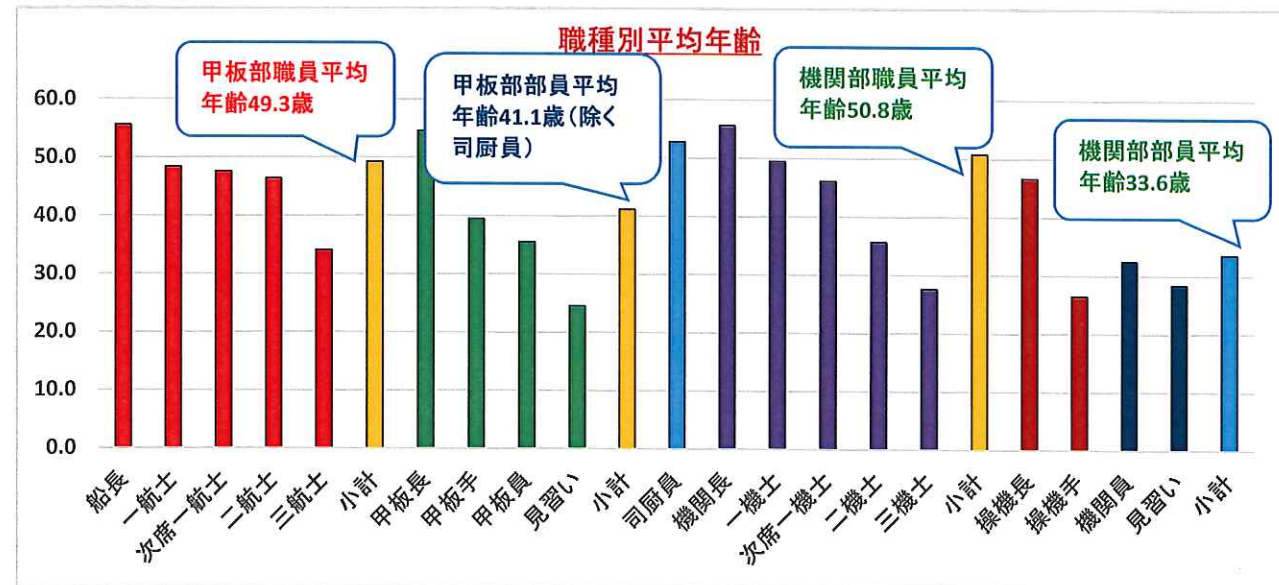
(職種別平均年齢の前年対比)

職種	26年度	27年度
甲板部職員	49.0歳	49.3歳
部員	42.0歳	41.1歳
機関部職員	50.3歳	50.8歳
部員	34.1歳	33.6歳

(2) 航海/機関別

27年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,035	149,600	49.3
	部員	1,542	67,717	43.9
	<b>小計</b>	<b>4,577</b>	<b>217,317</b>	<b>47.5</b>
機関部	職員	1,895	96,287	50.8
	部員	206	6,923	33.6
	<b>小計</b>	<b>2,101</b>	<b>103,210</b>	<b>49.1</b>
<b>合計</b>	<b>6,678</b>	<b>320,527</b>	<b>48.0</b>	

26年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
職員	甲板部	3,068	150,336	49.0
	機関部	2,012	101,241	50.3
	<b>小計</b>	<b>5,080</b>	<b>251,577</b>	<b>49.5</b>
部員	甲板部	1,705	76,583	44.9
	機関部	214	7,308	34.1
	<b>小計</b>	<b>1,919</b>	<b>83,891</b>	<b>43.7</b>
<b>合計</b>	<b>6,999</b>	<b>335,468</b>	<b>47.9</b>	



・平成27年度の職種毎の平均年齢は表のとおりである。

・前年度と比較すると、**甲板部職員は0.3歳**、機関部職員は0.5歳増加し、甲板部**部員は0.9歳**、機関部**部員は0.5歳**若くなっている。



5. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	隻数	船員数	平均乗船員数	年齢計	23年度平均年齢	24年度平均年齢	25年度平均年齢	26年度平均年齢	27年度平均年齢
200未満	164	520	3.2	27,527	51.3	52.6	52.7	52.0	52.9
500未満	229	1,132	4.9	58,167	51.9	52.0	51.4	51.2	51.4
750未満	158	1,012	6.4	50,836	50.9	49.6	50.5	50.1	50.2
1000未満	54	475	8.8	22,722	49.6	48.3	47.9	48.3	47.8
1600未満	22	212	9.6	9,515	47.2	48.3	47.4	47.5	44.9
3000未満	44	461	10.5	20,198	44.9	44.1	44.4	43.8	43.8
3000以上	100	1,115	11.2	47,633	43.3	42.8	43.5	42.7	42.7
合計	771	4,927	6.4	236,598	48.9	48.5	48.6	47.9	48.0

・本年度は、平均年齢はほぼ前年並みの48.0歳であった。若手の採用が活発に行われているが、60歳以上船員の継続雇用が増加していることから、平均年齢は相殺された。

(2) 船種別平均年齢(乗船中)

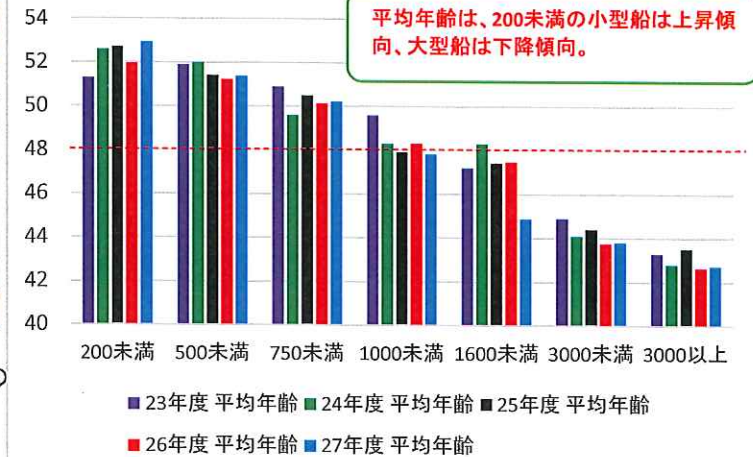
	隻数	船員数	平均乗船員数	年齢計	23年度平均年齢	24年度平均年齢	25年度平均年齢	26年度平均年齢	27年度平均年齢
油タンカー	434	2,991	6.9	139,649	48.2	48.5	48.0	47.2	46.7
ケミカル船	143	756	5.3	38,519	51.3	50.6	51.2	49.8	51.0
特タン船	96	457	4.8	23,735	49.6	50.4	50.3	49.2	51.9
ガス船	98	723	7.4	34,695	49.3	47.9	48.0	48.4	48.0
合計	771	4,927	6.4	236,598	48.9	48.5	48.6	47.9	48.0

・平成27年度の平均年齢を下回るのは油タンカー(46.7歳)のみで、ガス船が平均の48.0歳。

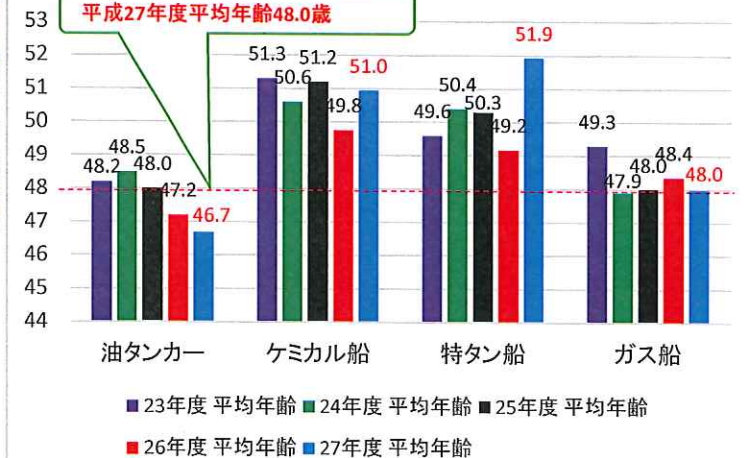
・最も平均年齢が高いのは、特タン船の51.9歳、ケミカルタンカーの51.0歳となっている。

・油タンカーやガス船は大型船も多く、居住空間も広く、若手船員の育成を兼ねた乗船研修も可能なため、他種船より平均年齢が下がっているものと推測する。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



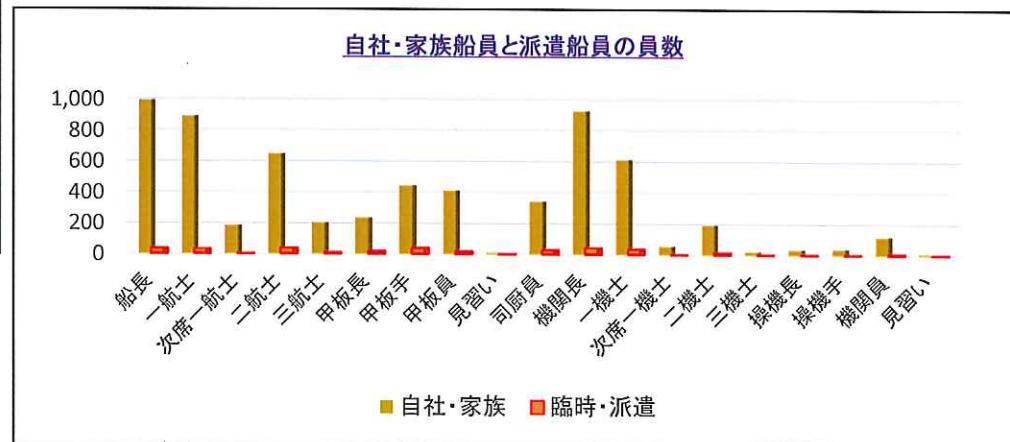
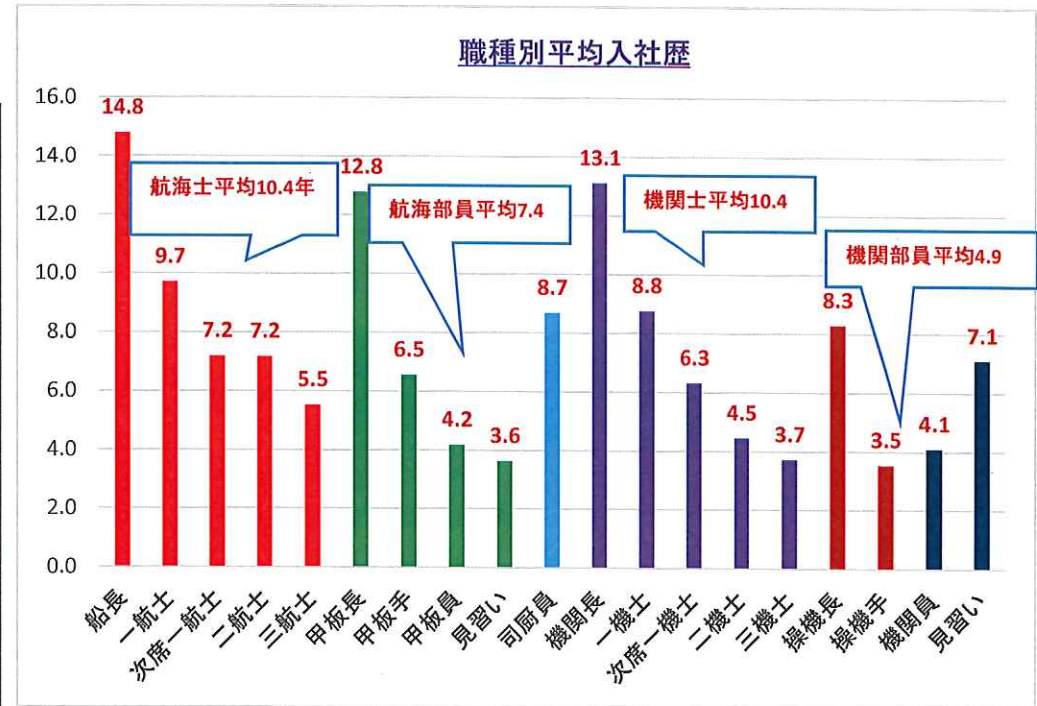
6. 入社歴及び前職

(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳		入社歴計	平均入社歴(*1)
		自社・家族	臨時・派遣		
船長	1,027	990	35	14,652	14.8
一航士	923	889	31	8,642	9.7
次席一航士	188	184	4	1,323	7.2
二航士	687	646	38	4,631	7.2
三航士	210	200	10	1,105	5.5
小計・平均	3,035	2,909	118	30,353	10.4
甲板長	252	233	19	2,980	12.8
甲板手	481	442	39	2,895	6.5
甲板員	425	408	17	1,707	4.2
見習い	14	11	3	40	3.6
司厨員	370	340	28	2,951	8.7
小計・平均	1,542	1,434	106	10,573	7.4
機関長	971	925	43	12,129	13.1
一機士	648	612	35	5,358	8.8
次席一機士	52	52	0	328	6.3
二機士	206	190	15	846	4.5
三機士	18	18	0	67	3.7
小計・平均	1,895	1,797	93	18,728	10.4
操機長	35	34	1	282	8.3
操機手	36	35	0	124	3.5
機関員	125	118	7	483	4.1
見習い	10	10	0	71	7.1
小計・平均	206	197	8	960	4.9
合計・平均	6,678	6,337	325	60,614	9.6

(\*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

- ・ 自社・家族船員の合計は6,337名で、前年度(6,632名)より295名減となった。
- ・ 派遣船員の合計員数は325名で、前年度(367名)より42名減となった。
- ・ 派遣船員の割合は4.9%で、前年度(5.2%)より補充難の傾向も推測される。





## (2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	74	52	374	172	65	27	53	13	115	60	23	1,028
一航士	113	24	291	170	45	21	48	4	82	107	21	926
次席一航士	20	4	54	42	12	4	12	3	15	21	1	188
二航士	104	9	230	78	29	15	47	5	74	83	15	689
三航士	87	3	47	6	5	0	18	1	9	33	1	210
小計	398	92	996	468	156	67	178	26	295	304	61	3,041
割合	13.1%	3.0%	32.8%	15.4%	5.1%	2.2%	5.9%	0.9%	9.7%	10.0%	2.0%	100%
甲板長	23	11	88	28	11	4	21	6	31	28	1	252
甲板手	143	12	153	6	14	3	26	3	39	80	2	481
甲板員	121	18	67	11	8	0	15	6	42	131	6	425
見習い	4	2	0	0	0	0	0	0	2	6	0	14
司厨員	16	7	109	8	20	3	20	11	37	133	6	370
小計	307	50	417	53	53	10	82	26	151	378	15	1,542
割合	19.9%	3.2%	27.0%	3.4%	3.4%	0.6%	5.3%	1.7%	9.8%	24.5%	1.0%	100.0%
機関長	45	22	352	147	43	31	70	25	133	83	16	967
一機士	82	15	235	85	20	10	45	6	78	64	6	646
次席一機士	2	1	18	5	6	1	7	0	4	7	1	52
二機士	87	2	34	13	6	0	12	2	11	37	2	206
三機士	12	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0	18
小計	228	40	639	250	76	42	135	33	226	195	25	1,889
割合	12.1%	2.1%	33.8%	13.2%	4.0%	2.2%	7.1%	1.7%	12.0%	10.3%	12.8%	100%
操機長	6	0	6	3	1	1	2	0	11	5	0	35
操機手	29	0	2	1	0	0	0	0	2	1	1	36
機関員	40	9	18	5	0	0	2	0	12	39	0	125
見習い	2	0	1	1	0	0	0	0	0	6	0	10
小計	77	9	27	10	1	1	4	0	25	51	1	206
総計	1,010	191	2,079	781	286	120	399	85	697	928	102	6,678
割合	15.1%	2.9%	31.1%	11.7%	4.3%	1.8%	6.0%	1.3%	10.4%	13.9%	1.5%	100%

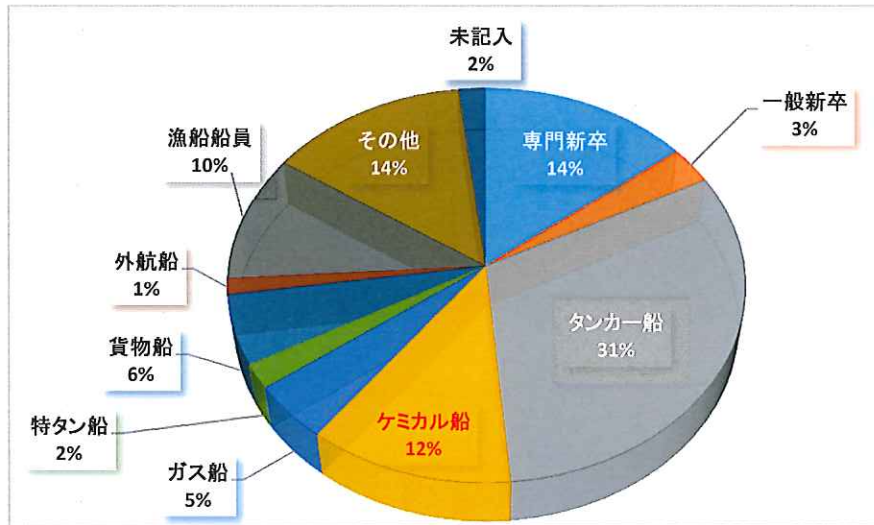
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、タンカー経験者31%、専門学校新卒者が15%、その他14%、ケミカル船が12%、漁船が10%、貨物船が6%となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

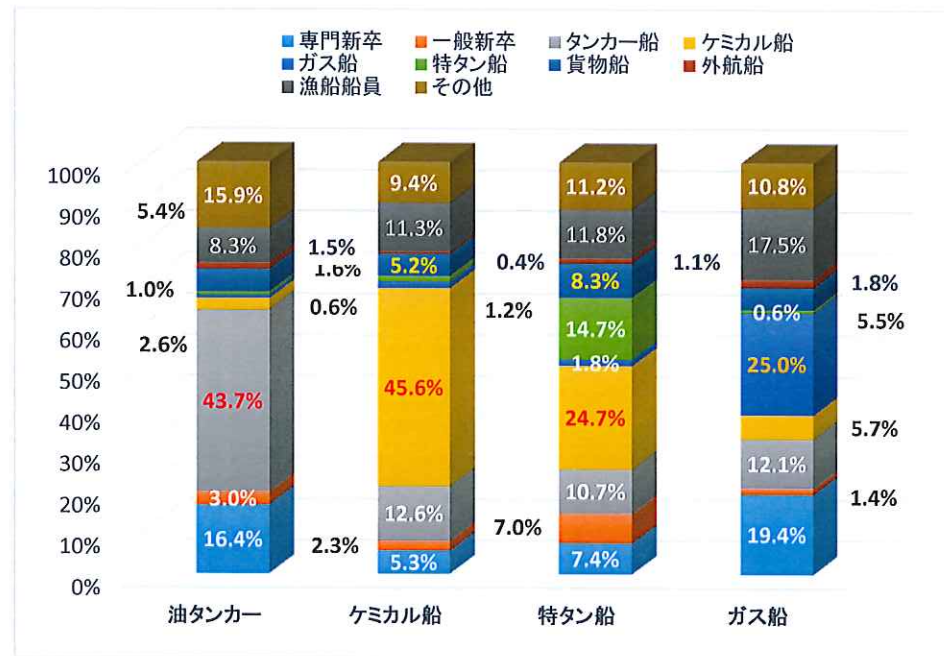
	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	492	91	1,309	78	30	18	163	45	248	475	46	2,995
ケミカル船	40	17	95	344	12	9	39	3	85	71	39	754
特タン船	34	32	49	113	8	67	38	5	54	51	6	457
ガス船	140	10	87	41	180	4	40	13	126	78	2	721
合計	706	150	1,540	576	230	98	280	66	513	675	93	4,927
比率	14.3%	3.0%	31.3%	11.7%	4.7%	2.0%	5.7%	1.3%	10.4%	13.7%	1.9%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	16.4%	3.0%	43.7%	2.6%	1.0%	0.6%	5.4%	1.5%	8.3%	15.9%
ケミカル船	5.3%	2.3%	12.6%	45.6%	1.6%	1.2%	5.2%	0.4%	11.3%	9.4%
特タン船	7.4%	7.0%	10.7%	24.7%	1.8%	14.7%	8.3%	1.1%	11.8%	11.2%
ガス船	19.4%	1.4%	12.1%	5.7%	25.0%	0.6%	5.5%	1.8%	17.5%	10.8%



※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低いと同じ傾向。

※特タン船は、ケミカル船の前職者が、特タン船の前職者を上回っている。

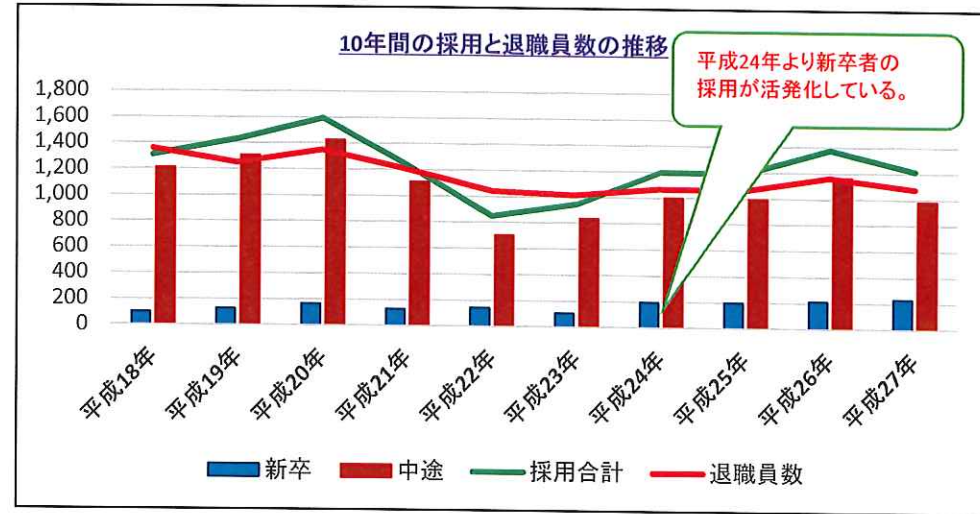




7. 採用・退職関係

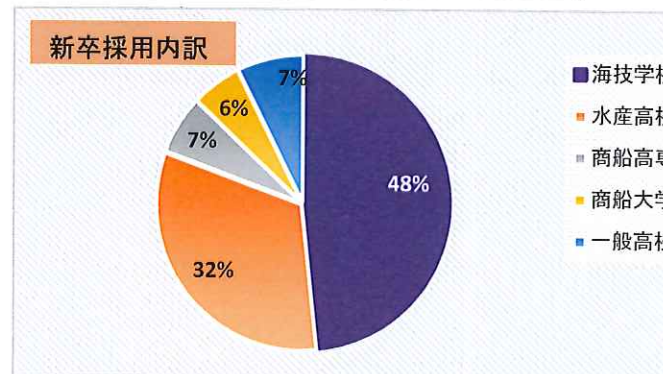
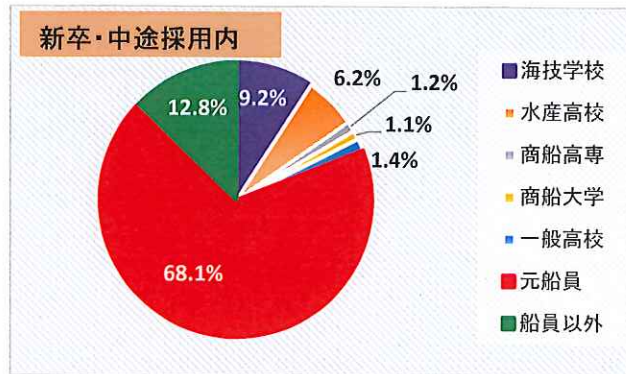
(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数－ 退職員数
平成18年	99	1,210	1,309	1,359	-50
平成19年	126	1,306	1,432	1,251	181
平成20年	165	1,428	1,593	1,350	243
平成21年	128	1,111	1,239	1,207	32
平成22年	143	706	849	1,044	-195
平成23年	106	839	945	1,017	-72
平成24年	195	1,003	1,198	1,069	129
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1,167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
合計	1,603	10,753	12,356	11,606	750



(2) 新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳

	新卒					中途		合計
	海技学校	水産高校	商船高専	商船大学	一般高校	元船員	船員以外	
人数	112	75	15	13	17	830	156	1,218
割合	9.2%	6.2%	1.2%	1.1%	1.4%	68.1%	12.8%	100.0%



※10年間の採用人数と退職人数は、採用人数が退職者数より750名多い。

※採用人数12,356名の内、中途採用者は10,753名と全体の87%を占めている。

※新卒者232名の内、海技学校からの採用は48%と約半数を占めている。



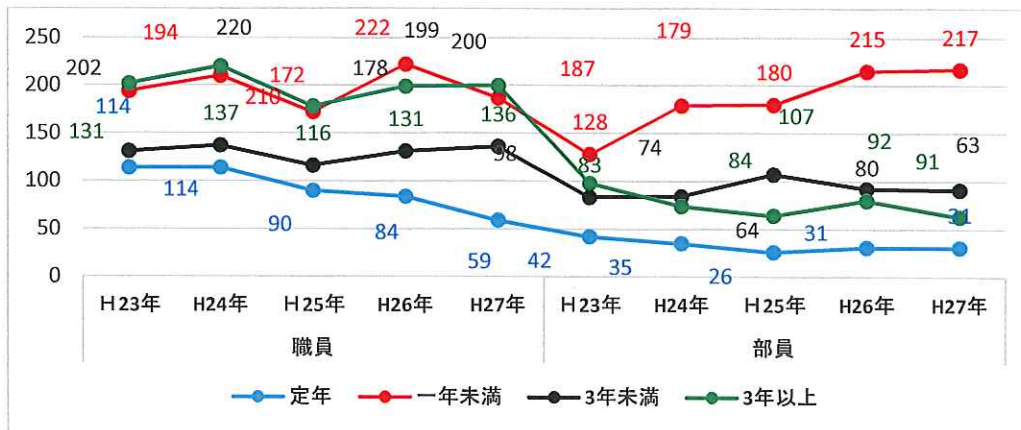
(3)平成27年度退職状況

	職 員				部 員				職・部員合計				
	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	甲板	機関	その他	計	
定年	42	16	1	59	12	3	16	31	54	19	17	90	
死亡・障害	4	4	0	8	4	1	1	6	8	5	1	14	
自己都合	一年未満	99	82	6	187	158	31	28	217	257	113	34	404
	3年未満	86	47	3	136	63	14	14	91	149	61	17	227
	3年以上	128	71	1	200	46	4	13	63	174	75	14	263
会社都合・他	一年未満	12	1	0	13	11	7	4	22	23	8	4	35
	3年未満	8	4	1	13	7	3	1	11	15	7	2	24
	3年以上	14	8	0	22	3	0	0	3	17	8	0	25
計	393	233	12	638	304	63	77	444	697	296	89	1,082	

(4)平成23～27年在籍期間対比(5年間)

(会社都合は除く)

	職 員					部 員					総計
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	
定年	114	114	90	84	59	42	35	26	31	31	626
一年未満	194	210	172	222	187	128	179	180	215	217	1,904
3年未満	131	137	116	131	136	83	84	107	92	91	1,108
3年以上	202	220	178	199	200	98	74	64	80	63	1,378
計	641	681	556	636	582	351	372	377	418	402	5,016



(平成27年調査結果)

※一年未満退職者 << (自己都合404名(37.3%),会社都合35名(3.2%)) >>

※一年以上3年未満退職者 << 自己都合227名(20.1%),会社都合24名(2.2%) >>

※3年以上退職者 << 自己都合263名(24%),会社都合25名(2.3%) >>

(5年間統計)

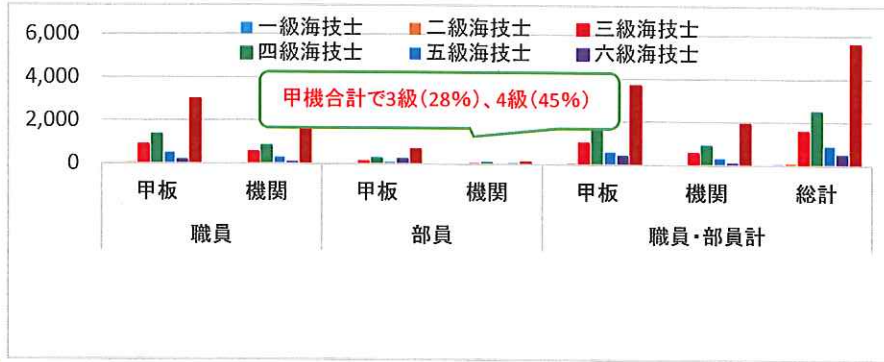
※自己都合により、一年未満での退職1,904名、一年以上3年未満1,108名、3年以上1,378名。3年未満で退職するものが3,012名(60.0%)。

### 8. 海技免状保有状況

#### ①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関	
一級海技士	24	30	2	0	26	30	56
二級海技士	61	49	3	1	64	50	114
三級海技士	895	545	122	24	1,017	569	1,586
四級海技士	1,349	833	253	59	1,602	892	2,494
五級海技士	505	303	80	10	585	313	898
六級海技士	165	66	231	17	396	83	479
計	2,999	1,826	691	111	3,690	1,937	5,627

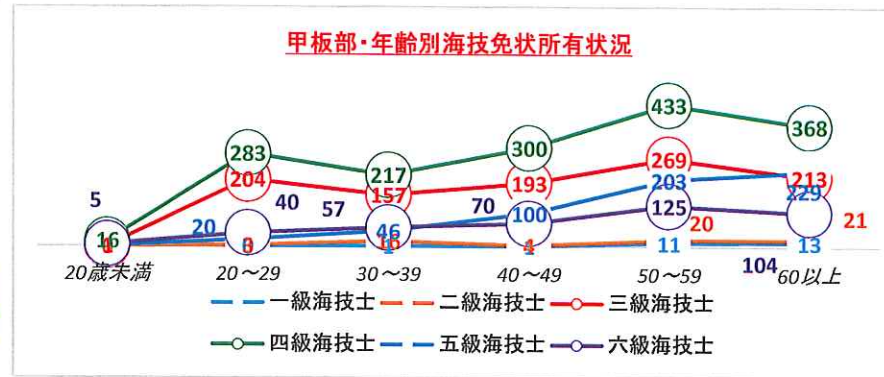
(未記入87)



#### ②年齢別保有数

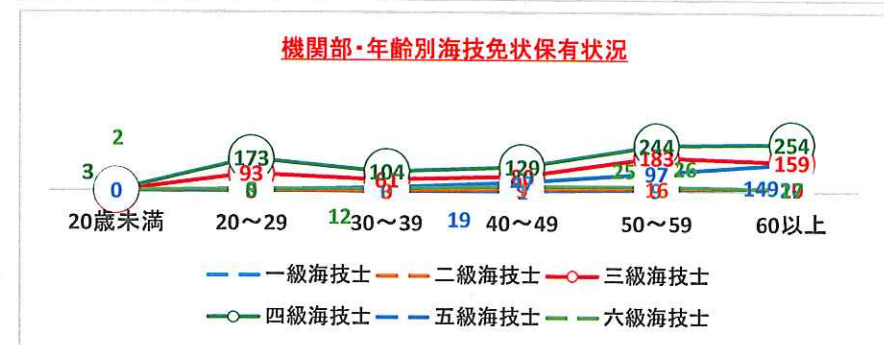
##### イ)航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	1	1	11	13	26
二級海技士	0	3	16	4	20	21	64
三級海技士	1	204	157	193	269	213	1,037
四級海技士	16	283	217	300	433	368	1,617
五級海技士	0	20	46	100	203	229	598
六級海技士	5	40	57	70	125	104	401
計	22	550	494	668	1,061	948	3,743



##### ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	1	9	20	30
二級海技士	0	3	3	9	16	19	50
三級海技士	0	93	61	80	183	159	576
四級海技士	3	173	104	129	244	254	907
五級海技士	0	6	19	47	97	149	318
六級海技士	2	8	12	25	26	17	90
計	5	283	199	291	575	618	1,971



※甲板部・機関部とも3級・4級海技士が主流

※6級海技士は部員の所有状況は甲板231名に対し機関部17名と少ない。

### 9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	174	75	249	69.9%
下船中	88	25	113	77.9%
計	262	100	362	72.4%

(未記入8名)



## 10. 船員不足の考察

## ① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数	隻数	船員数	平均乗員数
23	198	650	3.3	225	1,147	5.1	165	1,084	6.6	57	491	8.6	33	322	9.8	38	418	11.0	82	931	11.4	798	5,043	6.3
24	203	610	3.0	248	1,161	4.7	165	1,018	6.2	57	466	8.2	29	275	9.5	43	442	10.3	94	988	10.5	839	4,960	5.9
25	176	583	3.3	230	1,208	5.3	155	1,031	6.7	58	521	9.0	24	240	10.0	42	452	10.8	89	1,014	11.4	774	5,049	6.5
26	160	552	3.5	211	1,083	5.1	161	1,075	6.7	61	544	8.9	23	226	9.8	45	477	10.6	110	1,237	11.2	771	5,194	6.7
27	164	520	3.2	229	1,132	4.9	158	1,012	6.4	54	475	8.8	22	212	9.6	44	461	10.5	100	1,115	11.2	771	4,927	6.4
計	901	2,915	3.2	1,143	5,731	5.0	804	5,220	6.5	287	2,497	8.7	131	1,275	9.7	212	2,250	10.6	475	5,285	11.1	3,953	25,173	6.4

※ ここ5年間では、平成24年度が平均乗員数が最小で、平成27年度は各船型で平均乗員数が前年、前々年より低下。(平成24年度は東日本大震災の翌年で大型船増強や重複運航のあった年)

## ② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
23	5,043	1,778	6,821	1.35
24	4,960	1,792	6,752	1.36
25	5,049	1,580	6,629	1.31
26	5,194	1,805	6,999	1.35
27	4,927	1,751	6,678	1.36
計	25,173	8,706	33,879	1.35

※予備員率は5年間平均で1.35で、25年度の1.31を除けば、毎年同じ傾向

## ③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計	自社・家族	臨時・派遣	臨時・派遣
	船員数	船員数	船員数	比率
23	6,747	6,464	283	4.2%
24	6,739	6,357	382	5.7%
25	6,629	6,200	429	6.5%
26	6,999	6,632	367	5.2%
27	6,678	6,337	325	4.9%
計	33,792	31,990	1,786	5.3%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で5.3%、27年度は4.9%で、平均及び前年を下回る

## ④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員(甲)	部員(甲)	職員(機)	部員(機)	計	職員(甲機)割合
	23	103	86	88		
24	164	106	107	5	382	70.9%
25	159	142	121	7	429	65.3%
26	143	110	104	10	367	67.3%
27	118	106	93	8	325	64.9%
計	687	550	513	36	1,786	67.2%
割合	38.5%	30.8%	28.7%	2.0%	100.0%	

※臨時・派遣船員の7割近くが職員として就労、機関に限れば9割以上が職員。

## (まとめ)

## 1. 安全最小定員数と実乗船員数

船員法等を遵守する最小船員数は、航海時間16時間超500トン未満の法定定員は、航海士2名+1名(航海当直要員)、機関士2名の計5名となる。さらに着離棧、荷役作業を考慮すると最低6名は必要となる。500トン未満船の5年間平均での実乗船員数は5.0名となっており、16時間未満航海の船舶があることを考慮しても、船員不足からギリギリの員数で運航している船舶があるものと推測される。

## 2. 予備員数

平成27年度の予備員率は上表のとおり1.36(5年間平均1.35)である。年間休日110日(休暇105+乗下船5)を付与するための理想の予備員率を1.43として逆算すると約370名が不足していることとなる。また、この値を推計船員数8,681名(乗船中4,927名、下船中2,276名)で置き換えると、約480名の不足となる。

## 3. 臨時・派遣船員

毎年300名程度の船員、特に、甲・機職員への派遣が7割近く占めている。言い換えれば予備員数の不足と同様に、毎年300人程度の船員が自社で賄えない不足した船員と捉えることも出来る。今後は、退職船員の増加により派遣船員の供給不足も考えられ、停船を余儀なくされる船舶が増加することが危惧される。

## 4. 船員不足への対応

船員不足の実態は、乗船定員、予備員率、船員派遣等、各々の調査結果に現れている。この結果に危機感をもって、若年船員確保や高齢船員活用等への対応を図る必要がある。